

Macrobo Ver1.0

ユーザーガイド 第1.0版

目次

1 はじめに

2 動作条件

3 インストール手順

3.1 .Net Framework 4.6.1のセットアップ

3.2 Macroboの入手 ～ セットアップ

4 新規プロジェクト作成方法

4.1 新規プロジェクト作成

4.2 新規ノード作成

5 変数・関数・定数

5.1 変数

5.2 関数

5.3 定数

5.4 特殊キー

6 処理タイプ

6.1 検出

6.2 キーボード

6.3 マウス

6.4 待機

6.5 メール

6.6 アプリ

6.7 変数

6.8 ファイル・フォルダ

6.9 ダイアログ

6.10 Excel

Section 1 はじめに

1 はじめに

本マニュアルでは、Macroboを使用する上でのインストール方法・基本動作に関して説明します。

本ソフトウェアの使用により生じたいかなる損害に対しても、弊社は一切の責任を負いません。

本ソフトウェアを許可なく配布する事は禁止します。

Section 2 前提条件

2 動作条件

本ソフトウェアはMicrosoft .Net Framework 4.6.1以上にて動作します。

本ソフトウェアは下記のOSにて動作確認を行っています。

Windows 10 Professional Edition 64Bit

Windows 10 Professional Edition 32Bit

Windows 7 Professional Edition 32Bit

Section 3 インストール手順

3.1 .Net Framework 4.6.1のセットアップ

下記URLにアクセスし、Microsoft .Net Framework 4.6.1 をダウンロードし、インストールを行います。 ※1

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=49982>

※1 既に、セットアップされている場合は、本作業は必要ありません。
手順 3.2 へ進んでください。

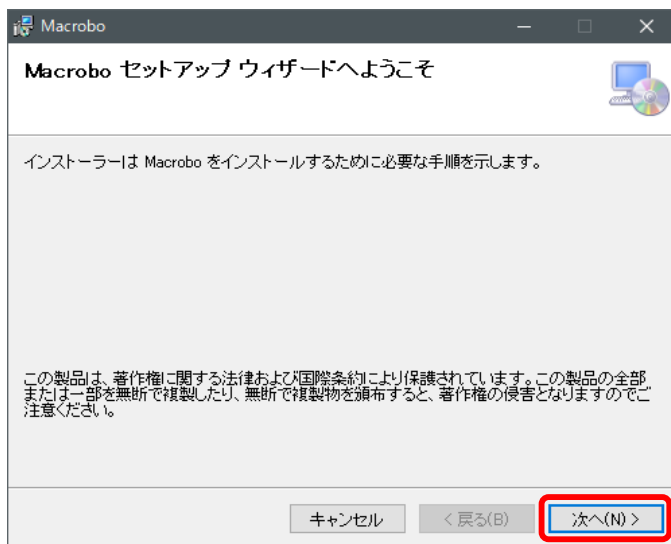
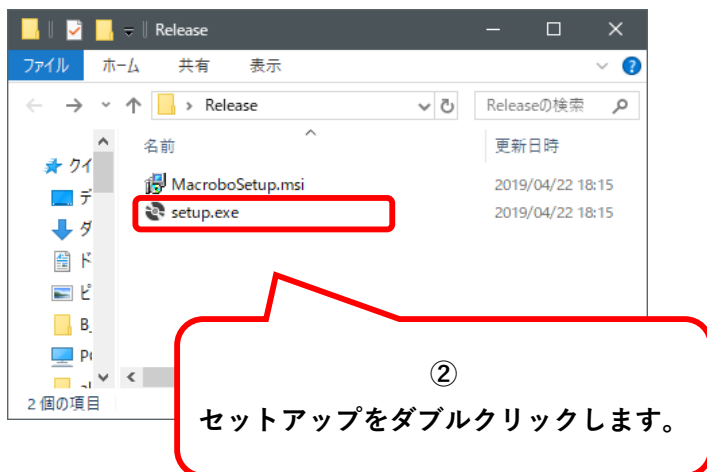
3.2 Macroboの入手～セットアップ

インターネットブラウザで、下記URLにアクセスし最新版のMacroboを入手します。

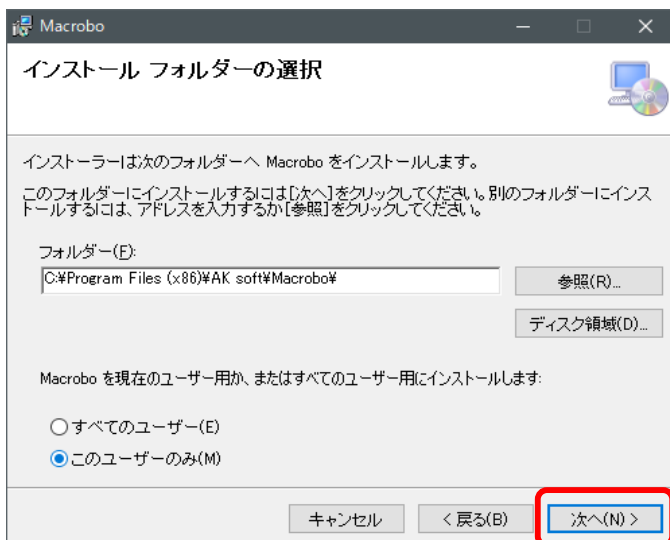
<https://aksoft-appservice-1.net/macrobo/>



Section 3 インストール手順

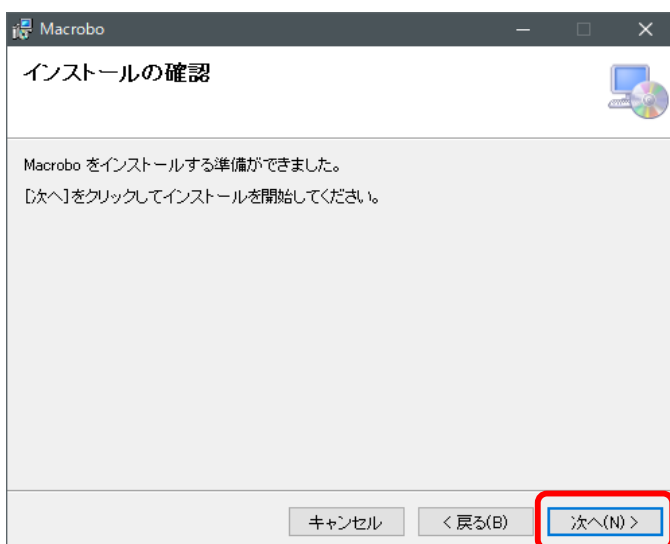


Section 3 インストール手順



④

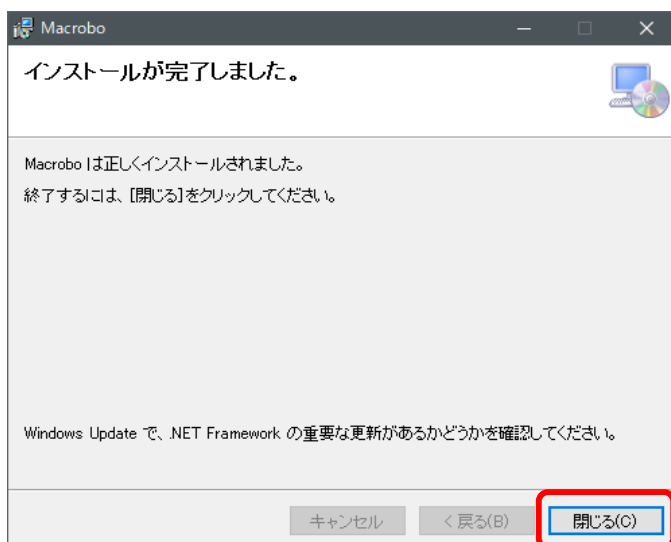
インストール先、対象ユーザーを指定し、「次へ」をクリックします。



⑤

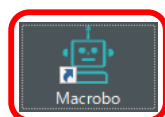
セットアップの準備が整いましたので、「次へ」をクリックし、インストールを開始します。

Section 3 インストール手順



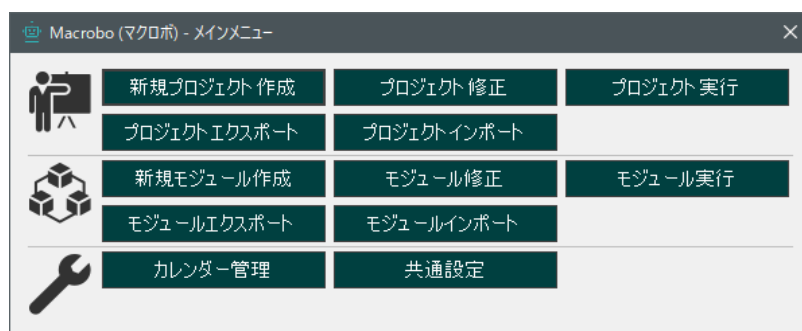
⑥

インストールが正常に行われた場合は、「閉じる」をクリックし、セットアップを終了します。



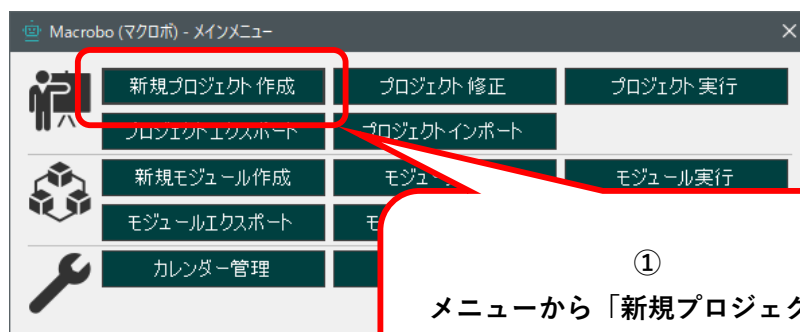
⑦

デスクトップに作成されたショートカットをダブルクリックし、システムの起動を確認します。

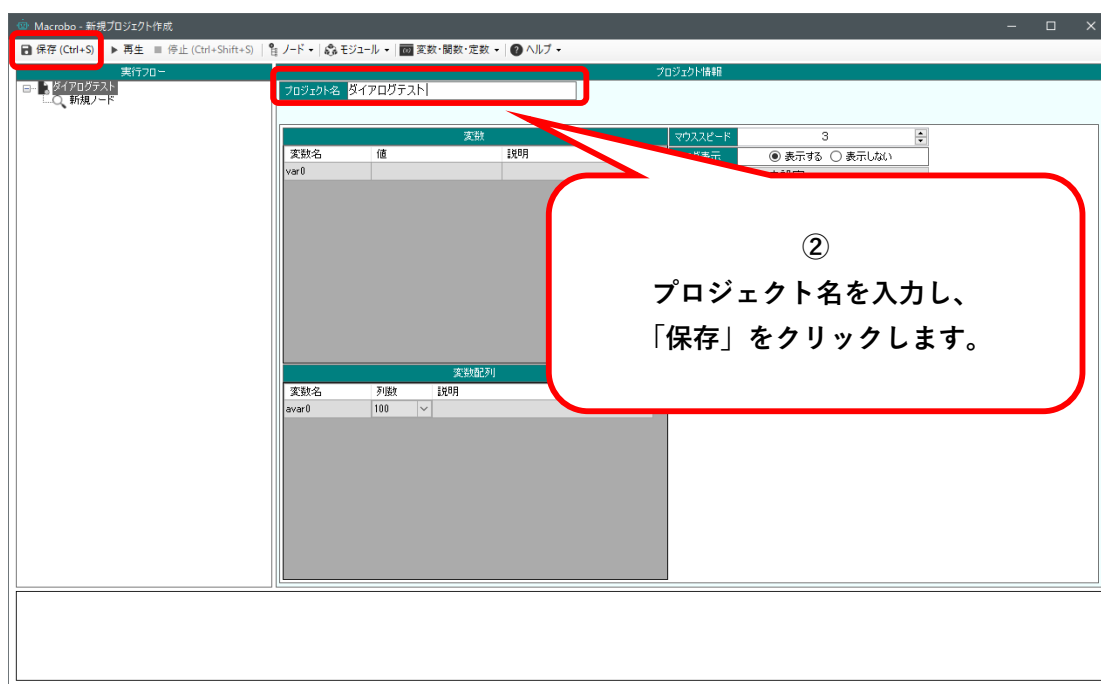


Section 4 新規プロジェクトの作成方法

4.1 新規プロジェクトの作成



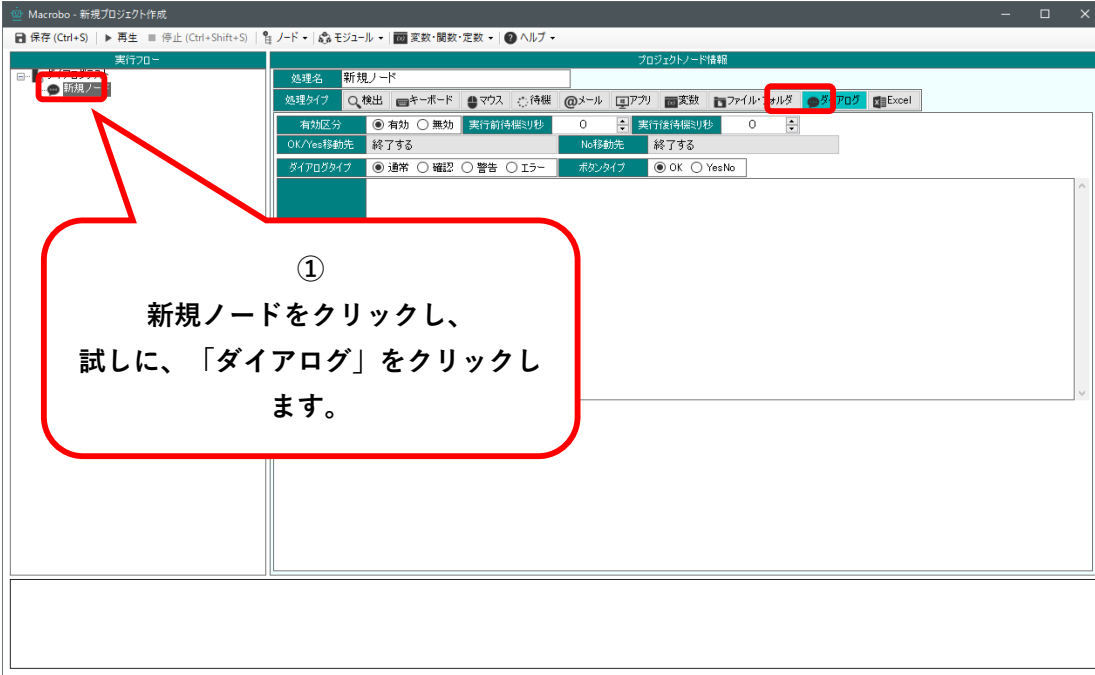
①
メニューから「新規プロジェクト作成」をクリックします。



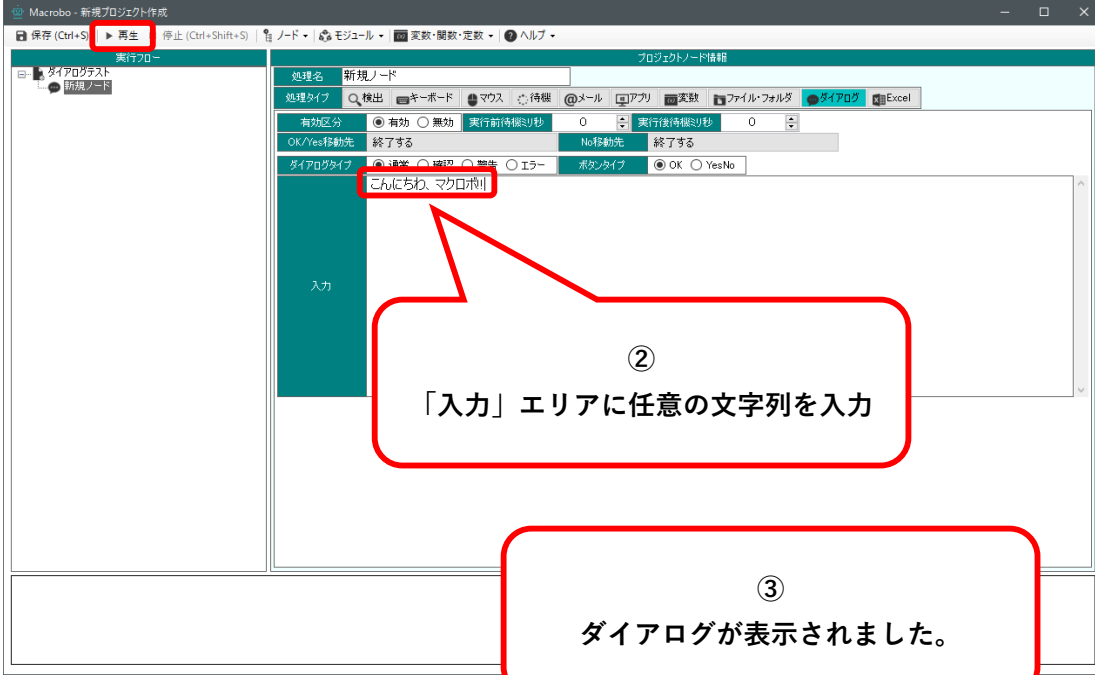
②
プロジェクト名を入力し、「保存」をクリックします。

Section 4 新規プロジェクトの作成方法

4.2 ノードの作成

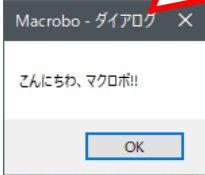


①
新規ノードをクリックし、
試しに、「ダイアログ」をクリックし
ます。



②
「入力」エリアに任意の文字列を入力

③
ダイアログが表示されました。



Section 5 変数・関数・定数

5.1 変数

変数には、「変数」と「変数配列」があります。
「変数」は文字列を格納する事が可能です。

「変数配列」は2次元構造のデータを格納します。

例)

列番号					
0	1	2	3		
0	1	2	3	0	行番号
4	5	6	7	1	
8	9	10	11	2	
12	13	14	15	3	

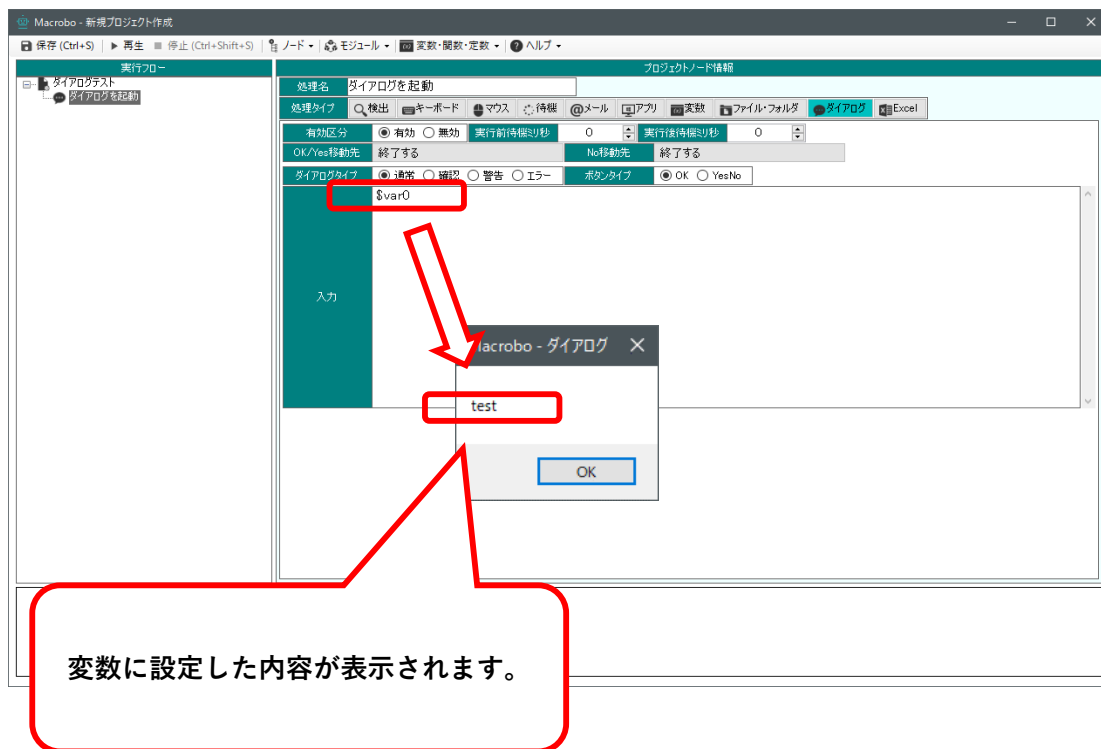
例えば、「11」にアクセスする場合は「\$変数名[3][2]」と指定します。
又、「0」にアクセスする場合は「\$変数名[0][0]」と指定し、通常のプログラムの様に、
0が1番目の要素となります。

変数		
変数名	値	説明
var0	test	初期値設定

変数配列		
変数名	列数	説明
avar0	100	▼

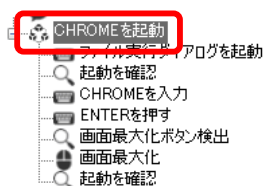
Section 5 変数・関数・定数

変数の値を利用する場合、宣言した変数名の頭に[\$]記号を付けます。
例えば、[var0]の変数名を使用する場合は、[\$var0]と設定します。



本システムを使用するうえで、ある程度の処理を塊として「モジュール化」するケースが増えますが、モジュール内からプロジェクト上の変数を使用する場合は変数の頭に[\$\$]と\$記号を2つ付けます。

モジュール内の変数を使用する場合は、通常通り[\$]記号を1つ付けます。



5.2 関数

Macroboには「日付関数」が用意されています。

関数の書式は、

\$DateTime(d,0,yyyy/MM/dd,1) となります。

引数の1つめには、d:日 M:月 y:年 h:時間 m:分 s:秒を指定します。

引数の2つめは現在時刻からのインターバルを指定します。

引数の3つめは日付フォーマットを指定します。

(例) yyyy年MM月dd日 hh時mm分ss秒 sssミリ秒 ddd曜日

引数の4つめは作成済みのカレンダーを適用可能です。

指定したカレンダーの平日でOFF設定の場合は、インターバルをスキップ、

土日でON設定の場合は、インターバルに土日も含めます。

(例) 本日が2019/05/07と仮定し、\$DateTime(d, 5, dd, 1) とした場合、

11日が稼働となりカウントされるため、13が返されます。

カレンダーのONOFFを会社カレンダー等に合わせることで、常に3日後の日付を取得するといった事が可能になります。

前月		2019年05月					次月
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
			X	X	X	●	
5	6	7	8	9	10	11	
X	X	●	●	●	●	●	
12	13	14	15	16	17	18	
X	●	●	●	●	●	●	
19	20	21	22	23	24	25	
X	●	●	●	●	●	X	
26	27	28	29	30	31		
X	●	●	●	●	●		

日付関数作成フォームを起動し、作成する事も可能です。

インターバル基準: 0 作成

カレンダー選択: 0: 未設定

日付フォーマット:

- ☒ yyyy年MM月dd日
- ☐ yyyy/MM/dd
- ☐ yyyyMMdd
- ☐ yy年MM月dd日
- ☐ yy/MM/dd
- ☐ yyMMdd
- ☐ yyyy年MM月dd日 HH時mm分ss秒
- ☐ yyyy/MM/dd HH:mm:ss
- ☐ yyyyMMddHHmmss
- ☐ yy年MM月dd日 HH時mm分ss秒
- ☐ yy/MM/dd HH:mm:ss
- ☐ yyMMddHHmmss
- ☐ カスタム

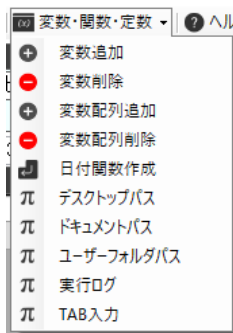
5.3 定数

\$PrintLog	実行ログを出力します。
\$Desktop	デスクトップのパスを取得します。
\$Document	マイドキュメントのパスを取得します。
\$UserProfile	ユーザーフォルダのパスを取得します。

5.4 特殊キー

文字列中に TAB キーを含めたい場合は、{TAB} と入力します。
TAB区切りのテキストファイルを出力する際等に使います。
(例) DATA1 {TAB} DATA2 {TAB} DATA3

各定数は、「変数・関数・定数」メニューからも取得できます。



Section 6 処理タイプ

6.1 検出

画像検出

画面上にイメージが存在するかを検出します。
画像キャプチャを使用し、最大5つまで画像を登録可能です。

有効区分	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	実行前待機ミリ秒	0	実行後待機ミリ秒	0
処理成功移動先	終了する		処理エラー移動先	終了する	
検出タイプ	<input checked="" type="radio"/> 画像検出 <input type="radio"/> ファイル検出				
タイムアウトミリ秒	5000				
画像キャプチャ (Ctrl+Shift+C)	<input checked="" type="radio"/> 画像1 <input type="radio"/> 画像2 <input type="radio"/> 画像3 <input type="radio"/> 画像4 <input type="radio"/> 画像5				
<div>キャプチャ画像</div> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>					
画面スクロール検出	スクロールしない		画面スクロール速度	3	
検出先へ移動	移動しない				

ファイル検出

PCやサーバー上にファイルが存在するかを検出します。
ファイル名のあいまい検索や、ファイルが書き込み可能かの判断も行えます。

有効区分	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	実行前待機ミリ秒	0	実行後待機ミリ秒	0
処理成功移動先	終了する		処理エラー移動先	終了する	
検出タイプ	<input type="radio"/> 画像検出 <input checked="" type="radio"/> ファイル検出				
タイムアウトミリ秒	5000	ファイル検出タイプ	<input checked="" type="radio"/> 完全一致 <input type="radio"/> 前方一致 <input type="radio"/> 後方一致 <input type="radio"/> 部分一致		
ファイル状態	<input checked="" type="radio"/> 読込可能 <input type="radio"/> 書込可能 <input type="radio"/> 存在次第				
フォルダパス					参照
ファイル名					
変数に格納	-未設定-				

Section 6 処理タイプ

6.2 キーボード

キータイプ キータイプはロボットにキーボード入力を実行させます。

入力エリアにフォーカスさせ、実行させたいキーを押します。

有効区分	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	実行前待機秒	0	実行後待機秒	0
処理成功移動先	終了する				
入力タイプ	<input checked="" type="radio"/> キータイプ <input type="radio"/> 文字列入力				
入力	Return				
※入力にフォーカスしてから、キータイプを行ってください。					

文字列入力 任意の文字列をロボットに入力させます。

有効区分	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	実行前待機秒	0	実行後待機秒	0
処理成功移動先	終了する				
入力タイプ	<input type="radio"/> キータイプ <input checked="" type="radio"/> 文字列入力				
入力					
変数に格納	-未設定-				

Section 6 処理タイプ

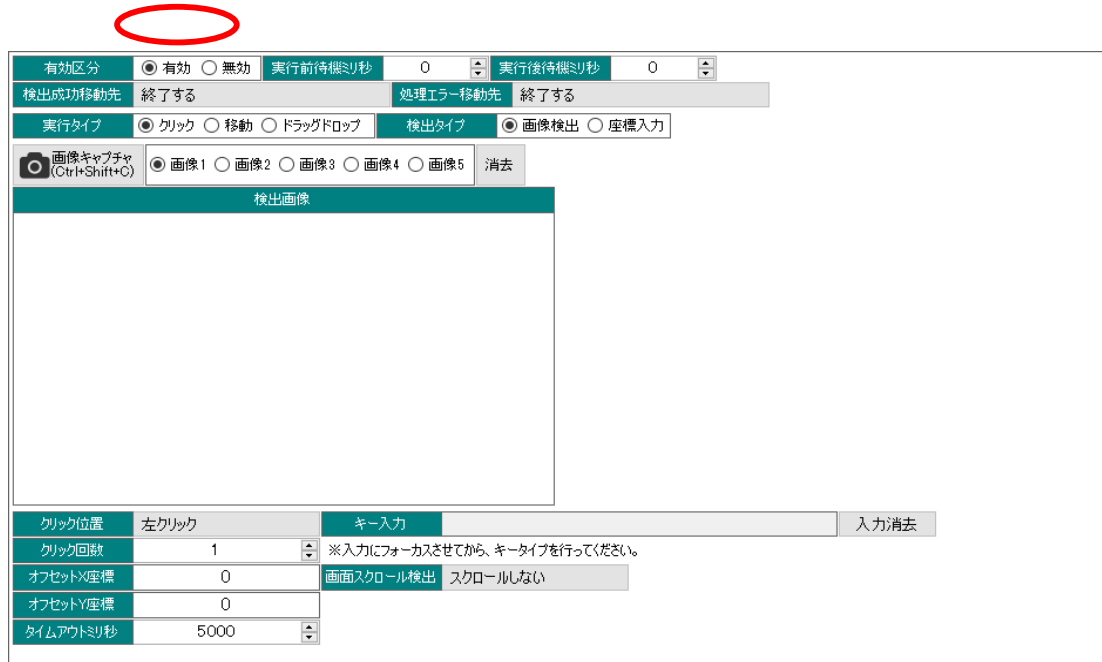
6.3 マウス

クリック操作

画像キャプチャされた画像を検出した場所をクリックします。

画像スクロール検出を設定すると、画像が見つかるまで、任意の方向へスクロールコマンドを実行し続けます。

キー入力、キーを押しながらクリック操作を実行します。(Shift+クリック等)



The screenshot shows the 'Click Operation' settings window. A red circle highlights the '有効区分' (Effective Area) section, which includes radio buttons for '有効' (Effective) and '無効' (Ineffective), and input fields for '実行前待機ミリ秒' (Pre-execution delay in milliseconds) and '実行後待機ミリ秒' (Post-execution delay in milliseconds). Below this, there are sections for '検出成功移動先' (Destination after successful detection) and '処理エラー移動先' (Destination after processing error), both with a '終了する' (End) option. The '実行タイプ' (Execution Type) section has radio buttons for 'クリック' (Click), '移動' (Move), and 'ドラッグドロップ' (Drag and Drop). The '検出タイプ' (Detection Type) section has radio buttons for '画像検出' (Image Detection) and '座標入力' (Coordinate Input). The '画像キャプチャ' (Image Capture) section has a camera icon, a label '(Ctrl+Shift+C)', radio buttons for '画像1' through '画像5', and a '消去' (Delete) button. Below this is a large empty box labeled '検出画像' (Detected Image). At the bottom, there are input fields for 'クリック位置' (Click Position) set to '左クリック' (Left Click), 'クリック回数' (Click Count) set to '1', 'オフセットX座標' (Offset X Coordinate) set to '0', 'オフセットY座標' (Offset Y Coordinate) set to '0', and 'タイムアウトミリ秒' (Timeout in milliseconds) set to '5000'. There is also a 'キー入力' (Key Input) section with a '入力消去' (Clear Input) button and a note: '※入力にフォーカスさせてから、キータイプを行ってください。' (Please focus on the input before key typing). The '画面スクロール検出' (Screen Scroll Detection) section has a 'スクロールしない' (Do not scroll) option.